

目次

はじめに（『鹿児島市立病院史』の続編として）

序文

鹿児島市長 森博幸

巻頭言

鹿児島市立病院長 坪内博仁

第1編 先端医療の幕開け（昭和56年～63年）

第1章 「慈愛像」建立……………	2
○小児科50床増床	
○事業完了のモニュメント	
第2章 電算システムの導入……………	7
○電算システムの始動	
第3章 国際交流……………	9
○長沙市の研修医受け入れ	
第4章 先端医療の幕開け……………	12
○上木家五つ子ちゃん、スクスク	
○県内初の無菌手術室が完成	
○上高原勝美院長が退任、時任純孝院長が就任	
○南九州初の腎臓移植	
○県内初の胎児輸血	
○九州初の体外受精に成功	

第5章 救命救急センターの開設……………20

- 県からの開設要請 ○応諾、オープン ○形成外科も同時開設 ○リハビリセンター拡充 ○救命救急センター棟建設へ

第6章 充実する診療科目……………26

- 1号館1階など改修 ○病理研究検査室の設置 ○診療16科体制、日帰りドックも ○夕食時間の変更 ○駐車場を有料化 ○時任院長のプレゼント ○小児外科を開設 ○医療相談コーナー設置 ○赤ちゃんにも心筋梗塞 ○「ファイリング」と「コスモ」命名 ○新生児センター10年、救命率96%

第2編 救急医療の充実（平成元年～9年）

第1章 救命救急センター本格稼働……………38

- 新センター棟が誕生

第2章 高度医療機器の導入強化……………41

- しめやかに合同慰霊祭 ○心臓血管撮影装置など導入 ○麻酔科の外来診療開始 ○アフガン難民の医療活動 ○スポーツ整形外科始動 ○胎児の治療成功を報告 ○初の腹腔鏡手術で胆嚢摘出 ○ボランティア「木曜会」始動 ○MRIを導入 ○時任純孝院長が勇退、外西寿彦院長が就任 ○遠隔地の胎児、画像で診断 ○3度目のベストエッセイ賞 ○上高原第3代院長が死去 ○胃がんとウイルスの関連発表 ○独立採算制で初赤字 ○体外衝撃波結石破碎装置を導入 ○4本の指を再接着 ○森副院長に日本医師会最高優功賞 ○大仁田厚さん退院

第3章 8・6水害と阪神・淡路大震災……………85

○外西院長が急逝 ○後任に武弘道副院長 ○8・6水害、職員一丸で ○阪神・淡路大震災に対応 ○被災地に3次の応援隊

第4章 伝染病棟の供用と感染症病床の設置……………67

○伝染病棟を供用開始 ○特三類看護に移行 ○立体駐車場が完成 ○腸移植で声取り戻す ○高気圧酸素治療装置を導入 ○土曜日の外来休診 ○血管造影撮影装置など導入 ○歯科口腔外科、リウマチ科開設 ○病院モニター制度発足 ○院内学級スタート ○基幹災害医療センターに指定

第3編 周産期医療の充実（平成10年～19年）

第1章 新生児センター増床と専用ドクターカーの導入……………78

○県民運動バックに ○「こうのとりの号」導入も ○母子保健奨励賞に茨科長

第2章 総合周産期母子医療センターの開設……………82

○新生児外来を優先 ○DICUの開設 ○「総合周産期」センター開設

第3章 県内初の自治体立優良病院の表彰……………86

○OB、現役との初の懇親会 ○県内初の自治体立優良病院 ○心臓血管外科を開設 ○県内で2つ目の臓器提供施設に ○禁煙外来を開設 ○外来待合室の全面禁煙 ○20世紀最後の大運動会 ○脳動脈瘤難手術に成功 ○武弘道院長が退任、谷口良康院長が就任 ○10代男性に骨髄移植 ○へり搬送で宮崎の乳児救う ○中央集中治療室に改称 ○リニアックを更新 ○順番表示・精算機など導

入	○ 県内初、脳死下での臓器提供	○ 本郷かまとさん、死去	○ 新医師臨床研修制度がスタート	○ ME 機器中央管理室を立ち上げ	○ 心のケアに心理士配置
	○ 谷口良康院長が退任、上津原甲一院長が就任	○ 新電算システムを導入	○ 市立高等看護学校が閉校	○ 全国自治体病院学会の開催	○ 救命救急センターにCT
	○ 「安全管理室」と「連携室」	○ 認定看護師の誕生	○ 院内学級生の作品入選		
第4章	移転開院の方針				
	○ 検討委員会立ち上げ	○ あり方検討委員会を設置	○ JT 跡地を購入、移転建て替えへ	○ JT 跡地の縁	○ 「北側に病院」案

第4編 新病院への始動（平成20年～26年）

第1章	新病院建設へ	122
-----	--------	-----

- 27年の開院目指す
- 「PFI 導入せず」
- 5つの基本方針
- 基本設計に着手
- 新病院の姿、明らかに
- 住民説明会
- へり飛行の騒音調査
- 工事の安全祈願
- 「鹿児島島のシンボルに」
- 27年5月1日開院

第2章	東日本大震災と災害協定	133
-----	-------------	-----

- DMAT と JMAT
- 市立病院チーム出動
- 相互応援の機運広がる

第3章	「地域がん」「小児救急」の拠点病院	139
-----	-------------------	-----

- 「地域がん」拠点病院に
- 小児外来の診療体制変更
- 「小児救急」も拠点病院に

第4章	ドクターへりとドクターカー	143
-----	---------------	-----

第 5 章	脳卒中センターの開設	148
	○ドクターヘリの運航開始	
	○新生児搬送を強化	
	○ドクターカー始動	
	○「脳卒中センター」開設	
	○地域連携バスの運用	
	○米国大学と研修協定	
	○小児病棟にミッキーマウス	
	○DPC対象病院に移行	
	○外来化学療法室を開設	
	○元院長の武弘道さん死去	
	○新型インフルで発熱外来開設	
	○自治体立優良病院の表彰	
	○初の院内災害訓練	
	○ウォークイン外来を開設	
	○ネコ原因の停電	
	○市立産院を廃止	
	○2度目の大臣表彰	
	○病院機能評価の受審と認定	
	○嬉しい贈り物	
	○手作り図書室を開設	
	○ドクタートレイン	
	○中国吉林省からドクター研修	
	○院外処方へ移行	
	○向こう10年の経営計画	
	○「7対1」看護体制を導入	
	○上津原甲一院長が退任、坪内博仁院長が就任	
	○事業収益、過去最高	
	○電子カルテの導入	

第 6 章	最新機器の導入と更新	172
-------	------------	-----

第 5 編	地域医療連携の推進（平成27年～平成31年）	
第 1 章	移転開院	180
	○移転準備の組織づくり	
	○新病院が完成	
	○高度機器を大幅刷新	
	○物品移送、慈愛像も	
	○院内保育所「こあらっこ」開所	
	○新病院の完成祝い	
	○コンセプトは「光と緑あふれる」	
	○「上荒田の杜公園」も	
	○患者移送のリハーサル	
	○双胎間輸血レーザーを導入	
	○心臓血管造影装置の更新	
	○全	
	○「PACS」など	
	○3・0TのMRIを導入	
	○リモート・アフター・ローディング装置更新	
	○不整脈治療のシステム導入	
	○心臓血管造影装置の更新	
	○全	

第2章

旧病院解体と跡地活用……………
○「潤いの拠点」に「パークPFI」 ○1年4カ月かけ解体 ○タイムカプセル出現 ○駐車場跡には国際交流センター ○病院跡地に「大河ドラマ館」

193

第3章

移転開院後の取り組み……………

198

第4章

熊本地震への対応……………

209

第5章

先端機器導入と病院改革プラン……………

215

- 加治屋町で閉院式
- ミッションコンプリート
- 新病院が本格オープン
- 診療科再編・入退院センター
- 2例目、3例目の脳死判定
- 病院機能評価の受審と認定
- 鹿児島大学病院との連携
- 初のクリスマスコンサート
- 移転後、初の災害訓練
- 第1回「市民のための医療フォーラム」開催
- 鹿児島大学大学院と連携講座
- 人間ドック廃止、クレジットカードOK
- 選定療養費を徴収
- DMAT、活動中に本震
- ドクターヘリ、赤ちゃん搬送に尽力
- 熊本市民病院看護師ら受け入れ
- 手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)導入
- 10カ年診療内容の紹介本を発刊
- 新公立病院改革プラン
- 先進内視鏡診断・治療センター開設
- ドクターカーの運用拡大
- 「PET・CT」が始動
- 看護部主催の「健康教室」始まる
- 中国開封市との交流
- 「地域医療支援病院」の承認
- 「PC特定病院群(旧II群)」にも
- BCPの策定
- 臨床修練外国医師を受け入れ
- 坪内院長に学術賞

第6編 市立病院のあゆみと今後の展望（座談会）……………229

【出席者】

鹿児島大学病院 院長 夏越祥次氏

鹿児島市医師会 会長 上ノ町仁氏

鹿児島県くらし保健福祉部 部長 中山清美氏

鹿児島市立病院 院長 坪内博仁

・鹿児島市立病院を取り巻く背景と特徴、取り組み

・鹿児島大学病院と鹿児島市立病院との連携

・鹿児島市医師会が期待する鹿児島市立病院の役割

・鹿児島県地域医療構想と鹿児島市立病院

・災害医療への対応と果たすべき役割、課題

・新しい鹿児島市立病院との関わり方と印象、評価

・鹿児島市立病院の今後の役割と目指すもの

第7編 資料編

第1章 医学業績

(1) 病院事業管理者 学術論文等の研究発表……………246

(2) 診療部門学術論文等研究発表……………249

「内科」「消化器内科」「循環器内科」「小児科」「新生児内科」「放射線科」

「消化器外科」「乳腺外科」「小児外科」「整形外科」「形成外科」「脳神経外科」

「皮膚科」「産婦人科」「眼科」「耳鼻咽喉科」「歯科口腔外科」「麻酔科」「救急科」

第2章 現況

(3)	「薬剤部」学術論文等研究発表	335
(4)	「看護部」学術論文等研究発表	336
(5)	医療技術部門学術論文等研究発表 「放射線技術科」 「臨床検査技術科」	337

第3章 統計

I	機構図(平成30年4月1日現在)	339
II	職員構成(平成30年4月1日現在)	340
III	■歴代院長・副院長・看護部長・事務局長(昭和56年以降) ○医師研修施設等指定の現状	346
IV	各棟別断面図	351
V	各棟別平面図	352
I	診療科目等開設の状況	357
II	病床数の推移	359
III	年度別職員数の推移	360
IV	年度別患者数一覧表	361
(1)	入院延患者数	361
(2)	外来延患者数	369
V	年度別財政状況調	

第8編	鹿見島市立病院年表	477
あとがき		459
	○鹿見島市立病院現職者(平成三十年十二月一日現在)	451
	市立病院を支えたひとと	448
	【市立病院の思い出】	
	市立病院の思い出	446
	鹿見島市立病院勤務を振り返って	442
	市立病院の思い出	439
	「旧市立病院の思い出」	436
	思い出 — 8年間の軌跡 —	
	第7代病院長 谷口良康	
	第8代病院長 上津原甲一	
	副院長 新名清成	
	看護部長 田上みや子	
	事務局長 松永初男	
特集	市立病院の思い出	
	○資産の部 ○負債の部 ○資本の部	
	○高度医療機器一覧表(単価1000万円以上)	
(1)	収支額の推移(税込)	377
(2)	損益計算書	384
(3)	貸借対照表	396

